

## 馬場内科クリニック



### 院長からひとこと

血圧、血糖や脂質などの異常や関節痛、筋肉痛など、お身体の事でお悩みがあればお気軽にご相談下さい。

### 【医療機関の先生方・市民のみなさまへ】

平成20(2008)年10月1日南海病院を退職して市内長島に開院して約16年経過しました。高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病やリウマチ、膠原病などの自己免疫性疾患、バセドウ病や橋本病などの内分泌疾患を中心に内科全般の診療を行っています。

専門的な分野では、日本の最先端のスタンダード医療をこの佐伯でも患者さんに提供したいと思い、日々最新の医療情報をアップデートしております。

循環器、呼吸器、消化器などの疾患で当院での対応が難しい場合は、早めに専門性の高い医療機関へ紹介致します。

個々の患者さんに最新、最適な医療を提供して佐伯の地域医療に貢献したいと思っています。



医療法人  
馬場内科クリニック

〒876-0813 佐伯市長島町2-133-2

TEL 0972-20-3344

診療科/内科・リウマチ科 院長/馬場 嘉美



## 連携医療機関の紹介

### 【医療機関の先生方・市民のみなさまへ】

大正8年蒲江で開業。平成9年10月より、現在地で診療しています。私は三代目で平成5年4月から当院で診療を行っています。

当院は佐伯市の南にある40床の病院です。一般診療、一次救急、健診、訪問診療のほか、透析、リハビリテーションに至るまで、地域で出来ることはなんでもしようと言うスタンスで診療を行なっています。

私は、消化器・外科が専門ですが、非常勤で、整形外科、脳神経外科の先生も週1回ではありますが診療を行っています。

高齢化が進む過疎地域ではありますが、急患だけでなく、慢性疾患や末期癌の患者さんも他の施設と協力し、地域の病院として診療を続けて行きたいと考えています。本年11月からデイケアも始めました。

医療法人 明倫会  
御手洗病院

〒876-2401 佐伯市蒲江大字蒲江浦2215-9

TEL 0972-42-0003

診療科/外科・内科・胃腸科・呼吸器科・小児外科  
院長/御手洗 義信



### 院長からひとこと

地域のため、出来ることはいつでも対応するという精神を忘れずに診療していくつもりです。

## 御手洗病院



## 新年あけましておめでとうございます



南海医療センター院長  
兼 附属介護老人保健施設長

もりもと あきお  
森本 章生

独立行政法人地域医療機能推進機構は、平成26年4月に発足し10年が経過しました。社会保険病院・厚生年金病院・船員保険病院が統合され、全国に57病院、九州山口地区に14病院があります。初代理事長は、“尾身 茂” 理事長で新型コロナウイルス感染症蔓延の時には“政府分科会会長”を務められました。令和4年より“山本 修一” 理事長となり現在に至っております。当院のこの10年間で一番大きな出来事は、新病院の建設でした。平成29年9月に起工式を行い建設開始、令和元年12月新病院棟が完成し竣工式を執り行い、令和2年12月グランドオープンを迎えました。免震構造9階建、屋上にヘリポートを設置した“災害拠点病院”としての機能を発揮できる病院となりました。令和4年12月には“地域医療支援病院”の指定を受け、さらに佐伯市の地域医療に貢献していきたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



〒876-0857 大分県佐伯市常盤西町7-8

南海医療センター

https://nankai.jcho.go.jp/  
TEL 0972-22-0547(代表)  
FAX 0972-23-4083



medical care information

なんかい



迎春



contents

P1 新年あいさつ

P2 診療科の紹介 外科

P3 訪問看護ステーション紹介

男性が“育休を取る”という選択肢を選んでみて  
病院栄養士の病棟での役割

P4 連携医療機関の紹介 馬場内科クリニック、御手洗病院

2025.2  
vol.28

## 診療科の紹介

### 外科

副院長 武内 裕 医師  
 部長 原 貴生 医師  
 医員 船木 康介 医師  
 医員 猪股 直高 医師



筆者：写真右

## 緊急手術に24時間対応可能な体制



当院の外科では消化器を中心に、肛門や乳腺の外科治療を行っています。腹部手術では積極的に内視鏡手術を行い、患者様に優しい低侵襲治療を心掛け、これまで通り緊急手術に24時間対応可能な体制も維持しております。また、私は大分県南部で唯一の大腸肛門病専門医（肛門科）を取得し、治療において患者様から多くの好評を頂いております。外科手術だけでなく、検査、診断、薬物療法、経過観察など一連の治療を行い、必要に応じて他科や紹介を頂いた先生方と連携し診療にあたっております。どの段階でも構いませんので、治療方針に悩む患者様がございましたらお気軽にご紹介下さい。

これと並行し、経口補助食品を併用しての絶食期間短縮、積極的な局所麻酔及び鎮痛剤投与で痛みの無い術後管理、クリニカルパスの見直しによるスマートな手術入院、ご意見箱を増設して患者様とのギャップ解消等、刻々と変わる医療ニーズに応えられる体制作りも進めています。

皆様が佐伯市内で治療を完結出来るよう、これからも病院機能の維持向上に努めていきますので、今後とも宜しくお願いいたします。  
 外科部長 原 貴生

### 手術件数



### 手術の割合

#### どんな手術をしているの？

順位	手術術式	割合 (%)
1	胆嚢摘出術	22
2	鼠経ヘルニア修復術	17
3	大腸切除(大腸癌、穿孔、狭窄等)	15
4	中心静脈ポート造設	10
5	胃切除(胃癌、GIST等)	7

## 訪問看護ステーション

### 紹介



2023年3月1日、当ステーションが開設し、看護師3名、事務員1名で活動をしています。ステーションの経営の安定化を目指し、まずは「訪問看護師として各自自身が成長をすること」を心がけ、訪問での接遇や感染、安全対策に気を付け、利用者にとって欠かせない存在の訪問看護師に近づけるよう頑張っています。

大分県佐伯市は九州で一番広く、65歳以上が41.7%（2024年10月1日）と高齢者が多い地域です。当ステーションは佐伯市全域が訪問区域であり、「自宅へ帰りたい」「帰りたい」という思いが叶うよう社会福祉士やケアマネ、福祉用具等関係機関と連携し、必要時は診療看護師へ相談、助言をいただき、自宅での療養生活が快適で自分なりの生活を送れるよう支援しています。

南海医療センター附属訪問看護ステーション

看護師長 三浦 由美香

## 男性が“育休を取る”という選択肢を選んでみて

2024年5月から半年間の育児休業を取得致しました。仕事を長期間離れる不安もありましたが、家族との時間を大切にしたいという思いが強く、決断しました。育児休業を取得するにはどうすればいいのか全く分からない状態での決断でしたが、担当職員の方々が親切に対応してくれたので問題なく円滑に取得することができました。

育児休業中は我が子との時間が新鮮で、毎日が発見の連続でした。特に子どもの成長を間近で見守れることはかけがえのない経験です。しかし、慣れない育児に疲れを感じることも多く、睡眠不足や家事との両立に苦労しました。その中で、パートナーとの協力や周囲のサポートの重要性を実感しました。

復職後は育児休業を経て得た視点から、働き方に対する考え方が変わり、時間の使い方がより効率的になりました。また勤務の配置等も考慮していただいたので、復帰後の不安も少なく順調に職場復帰を果たすことができました。上司や同僚の理解と協力を得られたおかげで、非常に充実した時間を過ごせたことに感謝しています。育児休業は自分だけでなく、家族全体にとって大切な時間です。これから取得を検討している方にも、ぜひ挑戦してほしいと思います。

放射線部 診療放射線技師 水城 洋佑

令和4年10月1日より育児・介護休業法段階的に改正されています。

当院の男性職員の育児休業取得状況 | 令和5年度 2名 | 令和6年度 1名

病院栄養士の病棟での仕事は、提供した食事が食べられているか？食べられていなければ、その理由は何か？といったことを考え、食事に反映させ、摂取量アップにつなげることにあります。病院では治療によって味覚が低下したり、口内炎が発生したり、食欲自体がなくなったりすることがあります。また、手術をした方はその傷を治すために通常と違う栄養を必要とする場合もあります。そのような場合に対応して、主食の固さの調整やパンなどへの変更、嚥下・咀嚼能力にあわせた食事形態の対応、食事にかかる時間や自力摂取可能かどうかなどを把握しその方にあった食事内容を提供できるように考えています。

栄養指導や給食管理といった仕事もありますが、一方で病棟では指示カロリーや栄養内容を患者さんの意見を反映しつつ、主治医・看護師・言語聴覚士などその都度連絡をとりながら食事内容を調整することも病棟栄養士の役割です。

栄養管理室 管理栄養士 成松 聖

## 病院栄養士の病棟での役割

